

27名それぞれの思い出を伺って！

●春日部地区浦高会の賀詞交歓会！

2月5日(日)午後5時から、春日部駅西口のやまや新館にて「春日部地区浦高会 平成29年賀詞交歓会」〔根本 崇会長(高16回)〕が開催され、33歳から85歳までの会員27名で賑やかにひと時を過ごしました。年の差52歳と言えば3世代、同じ高校という共通点で結ばれた素晴らしい時間です。



〔DVD鑑賞風景〕



〔根本会長〕



〔乾杯の清水氏〕



〔乾杯の様子〕

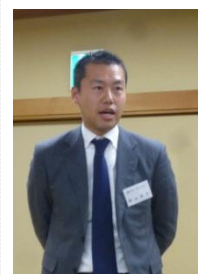
今年も皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いいたします」とのご挨拶がありました。

懇親会の前には、昨年10月15日に開催した「音楽の都ウィーンからの贈り物コンサート」のDVD(ダイジェスト版約15分)を上映し、ウィーン・フィルからお招きしたS・フーリンガー氏のピアノ演奏やバリトンの富田千種氏(19回)の歌声を楽しむ会場の様子などを出席者で楽しめました。

懇親会のはじめに根本会長から「昨年の総会で気楽に会長職を引き受けましたが、先ほどのDVDで500名の会場をほぼ満員にする春日部地区浦高会の皆様のパワーを改めて感じて、これは大変だと思いました。同窓会は会員相互の交流の輪、母校への支援とともに、春日部地区浦高会では地域貢献というものも大きなテーマでございますので、一生懸命に働いてまいりたいと思います。

引き続き、清水三郎さん(4回)から「私も83歳を過ぎましたが、いきいきクラブや小学校の放課後子ども教室などに参加してまだまだ元気に過ごしております。今年も皆様のご健勝と春日部地区浦高会のますますの発展を祈念して乾杯！」との元気よいご発声で乾杯しました。

お酒と料理で舌鼓を打った後は、新規会員の岡山裕大さん(54回)から「54回卒業の岡山です。高校時代は野球部でピッチャーをしていましたが、なかなか勝ち上がることができませんでした。古河マラソンは3年間完走しました。毎年1月2日に学年会をやっており、同じ野球部の渡邊さんから、春日部地区浦高会の話を知り、自分も地域で根を張りたいたいと思い入会させていただきました。四股度はライフプランナーをやっており、これまでは横浜を中心にしていましたが、地元・春日部、妻の実家のある栃木と3つの地域を拠点にしていこうと考えており、春日部青年会議所にも入会しました。先輩方からのアドバイスをよろしくお願いいたします」との自己紹介がありました。



〔新会員・岡山氏〕

続いて、出席者全員からの近況報告でした。今回は、浦高PTA副会長を務めている由木智さん(36回)からのアンケート「強歩大会の思い出」に因んだ話が多くありました。古河まで完走した人、久喜関門、栗橋関門等でリタイアした人、強歩大会を経験していない人と同窓生それぞれの高校時代の思い出を伺うことができました。

【強歩大会：(別名)古河マラソン】

強歩大会は、浦和高校から茨城県古河市までの約50.2kmを7時間で歩く(走る?)伝統行事です。戦前に行われていた耐久レースを昭和34年に高校11回卒業生たちが中心となって復活させ、その後、昨年11月まで58回連続で続いています。

皆さんからのひと言が終わると、オーダーストップの午後7時半、高校時代の応援団長・岩本利夫氏(22回)と柔道部・伊藤貴成氏(47回)のリードによる校歌斉唱、エールで締めました。皆さん、今宵も良く飲み、良く食べました。皆さんの元気に感謝です。(^^)



〔指揮の岩本氏と右が伊藤氏〕



【出席者全員からの近況報告】 [皆様のご発言は香田の手書きメモからです]

- ◆梅村 仁さん(11回) : 私たちの時代には強歩大会はありませんでした。高校時代、私は新聞部に所属しており、年間行事に関するアンケートを取りました。そのアンケート結果で強歩大会を復活させることになったのですが、その年は間に合わず開催できず残念でした。幸手関門で応援のお手伝いをしたことがありますが、寒いときはお湯、暑いときは氷と用意が大変です。一昨年までは同期が走っていたのですが、昨年からはOBが参加できず残念です。3年前にリタイアして、川柳を作ったり絵を描いて過ごしています。
- ◇石塚勝巳さん(13回) : 強歩大会は2回参加しましたが、久喜女子高まで走り、そこで大きなマメができてしまい止まってしまいました。現在は呆け防止に NPO 法人アジア教育友好協会に参加し、アジアの山岳地域で 221 校の学校建設を行っています。国内では、フレンドシップ交流という出前授業を行っています。ぜひ、皆さんにも会員になっていただければ幸いです。もう一つは、介護の会社で嚙下障害の方々への食事提供の支援に携わっています。
- ◆今成英明さん(12回) : 3年生の時に強歩大会が復活したのですが、私は走らずに岩槻関門で支援していました。昨年、後期高齢者となりましたが、いつまでも元気でいたいと思っています。
- ◇森 憲一さん(14回) : 一昨年の 12 月に網膜剥離になり手術をして、何とか見えるようになりましたが、字を書くことや階段を歩くときなどに不便があります。8 年間携わった自治会活動も卒業し、論語の素読会に参加しています。楽しみは孫とのひと時です。
- ◆石田知己さん(16回) : 与野市在住で与野浦高会会員ですが、春日部にご縁があり三輪さんや鳥井さんから“準会員”になればと言われて、いつの間にか会員になっています。与野浦高会は第先輩たちが多いのですが、春日部地区浦高会は若くて活動的です。浦高の思い出は、生徒会長不在での浦高祭です。私たち 16 期は昭和 20 年生まれでして、良く「あの時の子ども達が…」という言葉で表現されます。キャンパスファイアの歌も 16 回生からです。
- ◇鈴木 剛さん(28回) : 武蔵野銀行武里支店の加納さん(25回)のご縁で春日部地区浦高会に参加するようになりました。私の息子も 58 回でして、強歩大会については「浦高の伝統だ」と説明した覚えがあります。
- ◆鈴木 孝さん(10回) : 岸中から浦高に進み、いろいろなことが思い出せるのですが、英語の授業のことや夏休みのクラブ活動などが印象的です。労働組合の大変さを知り、暗い時代を過ごしたこともあります。
- ◇伊藤貴成さん(47回) : 春日部地区浦高会に参加して、柔道部を創設した先輩である清水さんと知り合えたのが嬉しいことです。日産クレジットで働いており、幕張、横浜、春日部と 4 時間半の道のりのトライアングルで働いています。浦高百年の森には家族連れで毎回参加しており、子ども達も戦力になってきました。
- ◆石塚善幸さん(13回) : 工芸部で増田先生に習いましたが、部室で麻雀をやっていた怒られたことがあります。古河マラソンでは 50 位以内に入っていました。趣味はテニスとマラソンで、今年も東京マラソンに出場します。
- ◇三村輝明さん(20回) : 春日部市内に 30 年間住み、南千住に移って 10 年が過ぎます。仕事は 5 年前に辞めましたが、それまでは一度も入院したことがなかったのですが、退社後は 3 回も入院して、朝夕とたくさんの薬を飲んでいますが、週 2 回は走り、月 2 回のゴルフ、毎日のお酒を楽しんでいます。
- ◆松本伸一さん(13回) : 希望者に陶芸を教えています。陶芸を始めたのは 40 歳の時で、野田青年会議所の理事長を卒業した時に増田先生の教えを思い出し、土いじりを始めました。それ以来 30 年以上陶芸を楽しんでいます。今年も秋にギャラリー平左衛門で陶芸展を開催します。強歩大会は栗橋でギブアップしましたが、美味しい桃を食べたことを覚えています。
- ◇長岡成郎さん(11回) : 杉戸町で産婦人科を 34 歳で開業し、今年で 43 年目になります。今日も浦和で優生保護法関連の 2 年更新の研修があり参加して来ました。産科医の実情は、恐怖心と人件費との闘いです。出産時というのはさまざまなことが起こります。赤ちゃんであったり、母体であったり、そうしたさまざまなことに対処して命を守ることは本当に大変なことです。
- ◆清水幹夫さん(9回) : 随分と名簿で上になってしまいましたが、体もだいぶガタがきています。皆さんも日経新聞を読まれると思いますが、7 割の読者が最終面から読み出すそうです。大学になると仕事のしごみがあって書けないことも、高校時代の友人とはそうしたしごみが少なく書けるそうです。私たち 9 回生もそうで、高校時代は 3 年間の付き合いでしたが、今でも月 2 回の飲み会を都内で開催しています。ある日、幹事が男ばかりでは色気が無いと、一女との合同での飲み会を提案しましたが全員反対という結末の固さでした。今、男子校が脚光を浴びています。親が見直しているようです。
- ◇岩崎 正さん(11回) : 私は元気です。毎週 1 回のゴルフを目指していますが、昨年は 12 月 26 日に 53 回目のゴルフを達成しホッとしました。今年も 55 回を目標にしており、2 月 13 日から 7 泊でハワイに行ってきます。

- ◆大島齋礼さん(2回)：今年 86 歳になりますが、最初の東京オリンピック（1964 年）は役員として参加しました。今度の東京オリンピック（2020 年）でも役員として見たいと思っています。現在も杉戸町で子ども達の体操指導を行っています、生徒が 600 名弱になっています。
- ◇池田博行さん(44回)：公認会計士事務所で独立して 10 年目になります。今年は飛躍したいと考えています。また、小 1 の長女のためにも頑張ろうと思っています。
- ◆岡田 務さん(48回)：私がこの会に参加したのは、10 年前に財務部長だった香田さんに昼休みに呼ばれたことがきっかけです。市役所で一般職員が財務部長に呼び出されるといのは異例なことですので、何だろうかとオズオズと伺ったところで同窓会に誘われました。近況は昨年 8 月に次男が生まれ、将来は我が子たちを浦高に入れようと考えています。
- ◇橋本吉正さん(19回)：19 年前（平成 10 年）に脳出血を起こして右半身が不自由です。読み書きができず、仕事もできず、家では一人で歩けでも外出は女房に支えられています。周りの方から「仲が良いですね」と言われるのですが、私が独り立ちできないというのが実情です。
- ◆竹内 透さん(44回)：仕事は社会保険労務士で、ハローワークに提出する書類等の手続き、賃金や勤務制度等のコンサルタント、年金の仕事などを扱っています。小 3 と 4 歳の娘たちがいますので、もう少し頑張ろうと思っています。春日部地区浦高会では会計を担当しています。
- ◇由木 智さん(36回)：仕事は歯科医院です。息子が浦高 2 年生となり、PTA の副会長をしています。今の浦高生たちはとてもまじめに学業等に取り組んでいます。PTA も活発で、特にお母さんたちのがはりきっています。昨年、古河マラソンでは幸手関門で素敵なおじいちゃんが話題になりましたが、実は岩崎さんでした。
- ◆岩本利夫さん(22回)：先ほどはウィーンからの歌でしたが、私は日本の歌で「秋田大黒舞」をご披露します。♪明けの方から福大黒舞い込んだなー さあさ舞い込んだ 舞い込んだなあー …めでたいとなー♪
- ◇香田寛美(25回、副会長)：私からは同窓会本部の報告をします。昨年 5 月に木村新会長になりましたが、その前の 2 年間は川野前会長のもとで「同窓会あり方検討委員会」が開催され理事や常任理事の選出方法が変わりました。現在は木村会長のもとで「同窓会活性化検討委員会」が行われており、同窓会として取り組む新たな事業や各委員会の活性化などについて話し合っています。来週 11 日は、地域職域同窓会責任者会議も行われ、各地域職域の活動等も報告されます。毎回、この会で春日部地区浦高会が活発だと評価いただいていること、会員の皆様に感謝します。今年も 4 月 9 日(日)に久喜麗和会の皆様と「(仮称)久喜の春を楽しむ旅」を行ったり、4 月 11 日(火)はゴルフ・コンペ、10 月 15 日(日)には女性オペラ歌手を招いて「音楽の都ウィーンからの贈り物コンサート」を開催する予定です。今年も、皆様のご協力をお願いいたします。
- ◆田村友彦さん(16回、副会長)：70 歳を超えて免許証の更新になるのですが、高齢者更新時講習を受けなければなりません。混んでいて受講できない状況で、誕生日後 1 か月の期限ぎりぎりでも受講できるようになりました。皆様も手続きは早めどうぞ。
- ◇三輪昭彦さん(15回、顧問)：設立時から 5 年間で事務局長、その後 10 年間で会長を務め、昨年の総会で根本新会長にバトンタッチしましたが、設立時のことを少しお話をさせていただきます。この会が生まれたのは、浦高百周年を記念してさまざまな地域で同窓会を作ろうという機運が盛り上がり、浦和麗和会の星野和央さん(4回)から石井治顧問(中 48回)に依頼があったり、鳥井隆一郎副会長(11回)のところへ依頼があり、お二人から私のところへお話が来ました。その時に、昔一緒に通学した野田市の皆さんも誘おうということで、春日部市、庄和町、野田市、杉戸町、宮代町も含めて「春日部地区浦高会」という名称になりました。設立の時に、市役所に香田さんがいるということを知っていましたから、香田さんも誘い今に至っています。また、野田市からも多くの会員の皆さんが参加してくださっているので、どうしても野田市から会長をと願っていたところ、根本さんが昨年の 7 月に市長を辞められたので、お願いして会長をお引き受けいただいたということでございます。春日部地区浦高会は、地域職域同窓会の中でも非常に活発で若い人たちがたくさん参加してくれている会です。ぜひ、これからも皆さんと一緒に事業に参加して盛り立てていきたいと思っております。
- ◆根本 崇さん(16回、会長)：松伏町出身の根本です。松伏町からは私、南部さん、石川遼さんの弟と浦高生は少ないのではないかと思います。野田市に 4 歳で引っ越してから野田市に住んで、中学では現在、北大水産学部名誉教授の仲谷一宏さんが同級生です。彼とは釣りを楽しんでいたのですが、彼はサメの生態研究、私は野田市で 24 年間市長をやらせていただきました。昨年 7 月に退職して、仕事は何もせずに 1 日 1 万歩を歩いています、150 日続いています。今、アブラボテという汚いタナゴなのですが、自然環境保全のためにこれを増やそうとしています。古河マラソンは栗橋でリタイアしました。